

科目区分	専門分野	授業科目	生活援助技術 I (コミュニケーション、環境調整、感染防止、活動・休息)
講師名	岡本 諭	実務経験の有無	有
単位数 (時間)	1 単位 (30 時間)	開講年次	1 年次 第 1 学期
授業概要 * 講師からのメッセージ	看護の基本的な技術を学びます。技術の修得には、知識の定着とともに反復練習が必要になります。自己学習時間を活用した練習を期待しています。		
<p>目的：対象の理解と看護実践の基礎となる基本技術を習得する</p> <p>目標：1. 看護技術の概念について知る 2. 看護の対象に対する、安全と安楽を確保する技術が実施できる 3. 看護技術を行う基礎となるコミュニケーション方法を学ぶ 4. 環境調整の意義が説明できる 5. 環境調整の援助技術が実施できる 6. 活動・休息・睡眠の意義が説明できる 7. 活動の援助技術が実施できる</p>			
回	授 業 内 容	授業方法	
1	1. 技術の概念 (安全、安楽、自立) <ul style="list-style-type: none"> 1) 看護技術とは 2) 看護技術の特徴 3) 看護技術を適切に実践するための要素 2. 看護技術の提供と倫理的配慮 3. コミュニケーション <ul style="list-style-type: none"> 1) コミュニケーションとは 2) コミュニケーションの基本原理と構成要素 3) コミュニケーションの種類 <ul style="list-style-type: none"> (1) 言語的コミュニケーション (2) 非言語的コミュニケーション 4) 関係構築のためのコミュニケーション 5) 効果的なコミュニケーション <ul style="list-style-type: none"> (1) 傾聴 (2) 情報収集 (3) 説明・指導 5) コミュニケーションに必要な能力・態度	講義	
2・3	4. 感染予防の技術 <ul style="list-style-type: none"> 1) 感染防止の基礎知識 <ul style="list-style-type: none"> (1) 感染成立の条件、院内感染の防止 (2) 感染拡大防止の対応 2) スタンダードプリコーション <ul style="list-style-type: none"> (1) 手指衛生 (2) 個人防護用具 (3) 患者ケアに使用した器具 (4) 環境対策 (5) リネン (6) 鋭利なものの取り扱い (7) 救急時の対応 (8) 患者配置 (9) 呼吸器衛生/咳エチケット 3) 感染経路別予防策 <ul style="list-style-type: none"> (1) 基礎知識 (2) 接触・飛沫・空気予防策 4) 感染性廃棄物の取り扱い感染とその予防の基礎知識 	講義	
4	標準予防策 (スタンダードプリコーション) の実際 <演習> ・手指衛生 ・個人防護用具の着脱	演習	
5	5. 環境調整技術 <ul style="list-style-type: none"> 1) 人間と環境 2) 病室の環境のアセスメントと調整 <ul style="list-style-type: none"> (1) 病室・病床の選択 (2) 温度・湿度 (3) 光と音 (4) 色彩 (5) 空気の清浄化とにおい (6) 人的環境 6. 療養環境について考える—快適な環境とは— <ul style="list-style-type: none"> 1) ベッド周囲の環境整備 <ul style="list-style-type: none"> (1) 環境整備の目的 (2) 環境整備に必要な物品、環境整備の方法 2) 療養環境の環境測定 	講義	

6	7. 活動援助技術 1) 基本的活動の基礎知識 (1) よい姿勢 (2) 日常生活動作 (3) ボディメカニクス 2) 体位・保持 (1) 基本体位 (2) 特殊体位 3) 体位変換 援助の基礎知識、援助の実際	講義
7	8. 病床を整えるための知識 1) マットレス・枕・リネンの条件 2) ベッドメイキング 9. 環境調整技術 1) 病床環境を整える技術 2) 病床を整える技術 (1) ベッドメイキング (2) リネン交換、リネンの取り扱い・方法	講義
8	一人でのベッドメイキング	演習
9	一人でのベッドメイキング	演習
10・11	臥床患者のリネン交換 左右への体位変換・安楽物品を用いた体位保持を含む	演習
12 (45分)	臥床患者のリネン交換 <技術試験> ・ 臥床患者のリネン交換 ・ 仰臥位から左右側臥位への体位変換 ・ 安楽物品を用いた安楽な体位の調整 ・ 快適な療養環境整備 ・ 安全な療養環境の整備 (転倒・転落・外傷予防)	技術試験
13	10. 活動援助技術 1) 移動 2) 移乗・移送 (1) 車椅子を用いる場合 (2) ストレッチャーを用いる場合	講義
14・15	車椅子移乗・移送 <技術習得度確認> ストレッチャーへの移乗、ストレッチャー移送 <演習>	技術習得度確認 演習
16 (45分)	終了試験	
評価方法	技術試験 (50%) 筆記試験 (50%) 評価基準参照	
テキスト	医学書院：系統看護学講座 専門分野Ⅰ 基礎看護学 [2] 基礎看護技術Ⅰ 医学書院：系統看護学講座 専門分野Ⅰ 基礎看護学 [3] 基礎看護技術Ⅱ 参考図書 学研：看護技術プラクティス 医学書院：根拠と事故防止からみた基礎・臨床看護技術	
備考	既習関連科目：人間関係論、微生物学講義、基礎看護学概論	